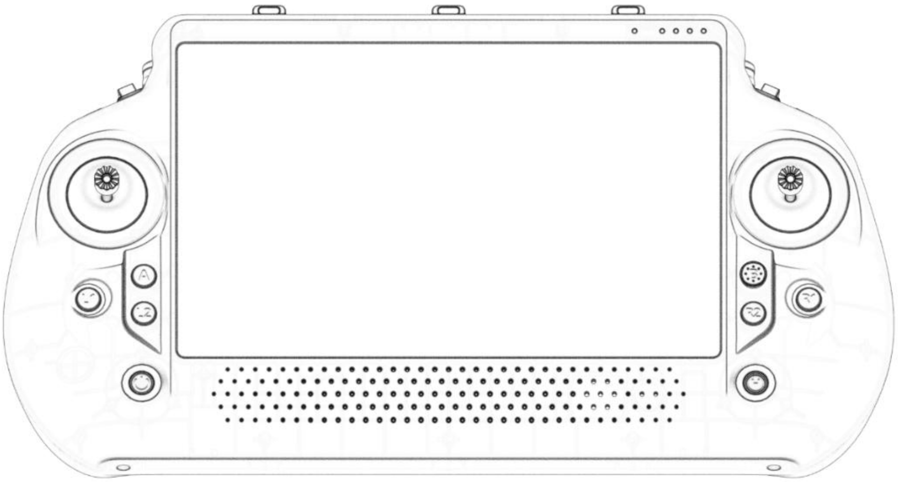
Q-iRC 産業用リモートコントローラー

ユーザーマニュアル



バージョン

1.0.0- 2025.10RE

目次

1. 読書のヒント 3
  1.1 免責事項 3
  1.2 ご使用前の注意事項 3
  1.3 免責事項 4
  1.4 記号の説明 4
2. リモコンの部品について 5
  2.1 部品の一般的な説明 5
  2.2 リモコン部品説明 6
3. 基本操作 9
  3.1 充電 9
  3.2 リモコンの電源投入方法 9
  3.3 バッテリー残量の確認 10
  3.4 タッチスクリーン操作 11
  3.5 カスタム機能ボタン 12
  3.6 リモコン管理 12
    3.6.1 リモコンキャリブレーション 12
  3.7 本体の映像出力 13
  3.8 リモコンのデータ保存とエクスポート 14
    3.8.1 データケーブルによるエクスポート 14
    3.8.2 モバイルストレージデバイスを使用したエクスポート 15
    3.8.3 microSD カード経由でのエクスポート 16
  3.9 画面共有 17
    3.9.1 マルチスクリーン無線同時伝送 17
    3.9.2 HDMI 出力 17
4. メンテナンスとアフターサービス 19
  4.1 メンテナンス 19
  4.2 アフターサービス 19
5. 製品仕様 20

1. 読書のヒント

1.1 免責事項

QYSEA Q-iRC 業界用ディスプレイ付きリモコン（以下「本リモコン」といいます）をご使用になる前に、必ず本マニュアルおよび対応する本体のユーザーマニュアルの全内容をよくお読みいただき、関連する安全操作要件を厳守してください。製品の航行ログをご提供いただけない場合、事故原因の分析が困難となり、保証その他のアフターサービスをご提供できない場合がございます。本製品のご使用を開始された時点で、お客様は本製品に関連する全ての条項をお読みになり、ご理解・ご承諾いただいたものとみなし、ご自身の行為及びそれにより生じる一切の結果について責任を負うことをお約束いただきます。

- 本製品は子供による使用には適しておりません。お子様やペットの手の届かない場所に保管してください。
- 使用中に提示されたリスクに違反して生じた製品の損傷、人身・財産上の損失については、一切の責任を負いかねます。また、無償の保守・点検サービスも提供いたしません。
- 互換性のない部品の使用、または当社の説明に反する方法による改造により生じた製品の損傷、人身・財産上の損失について、当社は一切の責任を負いかねます。
- ご自身および他者の生命・身体・財産の安全を脅かす操作を行わないよう、ご自身でご確認ください。
- お客様は、本製品を正当な目的でのみ使用することをお約束いただき、上記条項および当社が定める関連する方針またはガイドラインに同意いただきます。

1.2 ご使用前の注意事項

- 本装置は、QYSEA 社製本体専用です。
- ご使用前に、すべての付属品インターフェース、プラグ、O リングに損傷や欠落がないか、また乾燥・清潔な状態を保っているか、十分にご確認ください。
- ご使用前に、本装置の保護カバーを外してください。作業終了後は、必ず保護カバーをプローブ位置に再装着してください。
- 本装置と本体をつなぐ前に、本体の電源を必ず切ってください。
- リモコンおよび本体 のバッテリー残量が十分であることを確認し、作業中の電源供給が安定していることをお確かめください。
- リモコンと本体をつなぐ前に、まず本体の電源をお切りください。
- コネクタを挿入する際は、位置決め溝と位置決めキーを合わせてください。ピンが曲がったり破損したりしないようご注意ください。
- 作業終了後は、インターフェースを保護するため保護カバーを再装着してください。

- 起動前に、本体およびリモコンの動作状態が正常であることを確認してください。

1.3 免責事項

弊社ではお客様にアフターサービスを提供しておりますが、以下の場合は対象外となります:

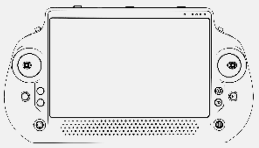
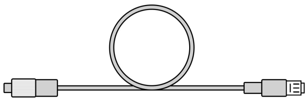
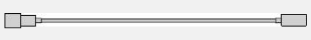
- 製造上の要因以外による衝突や損傷（ユーザーによる誤操作を含むがこれに限定されません）。
- 無断改造、分解、または公式取扱説明書に従わない操作による筐体開封および機器損傷。
- 公式説明書またはマニュアルに従った正しい設置、使用、操作が行われなかったことにより生じた損傷。
- 無許可のサービス提供者による損傷。
- 許可されていない回路改造、およびバッテリーや充電器アダプターの型番不一致、誤使用による損傷。
- 説明書またはマニュアルの推奨事項に従わない水中作業による損傷。
- 強酸、強アルカリ、強電流、大波などの過酷な水環境下での使用による損傷。
- 強い電磁干渉環境下での製品使用による損傷。
- その他の無線機器（送信機、ビデオダウンリンク、Wi-Fi 信号など）の干渉環境下での操作による損傷。
- 老朽化または損傷した部品を使用した強制潜水による損傷。
- 互換性や信頼性に問題のある、非公式のサードパーティ製部品を使用したことによる損傷。
- 電源不足またはバッテリー故障による機器の異常動作に起因する損傷。
- いかなる第三者製品による故障または損傷（ユーザーのご要望により QYSEA が提供または統合した第三者部品を含む）。非 QYSEA 公式技術サポートに起因する損害（例：操作手順、設定、インストール、ファームウェアアップグレードの誤りによるサポート問題）。
- 製品または部品の識別ラベルが変更または欠落している場合。

1.4 記号の説明

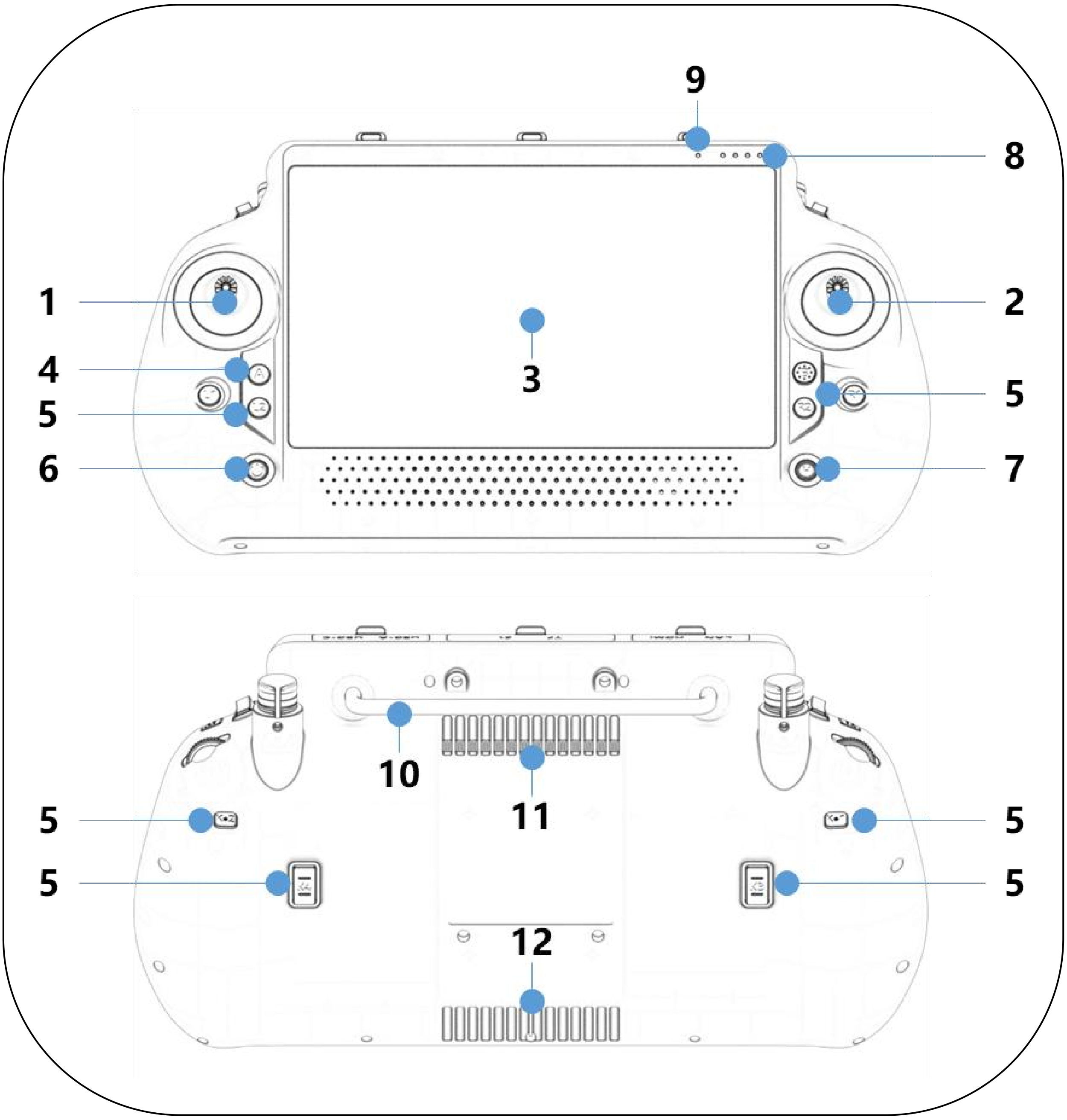
記号	説明
	警告：危険な状況が発生する可能性があります。
	重要：注意すべき事項です。
	ヒント：操作・使用上のアドバイス。
	備考：補足・参考情報。

2. リモコンの部品について

2.1 部品の一般的な説明

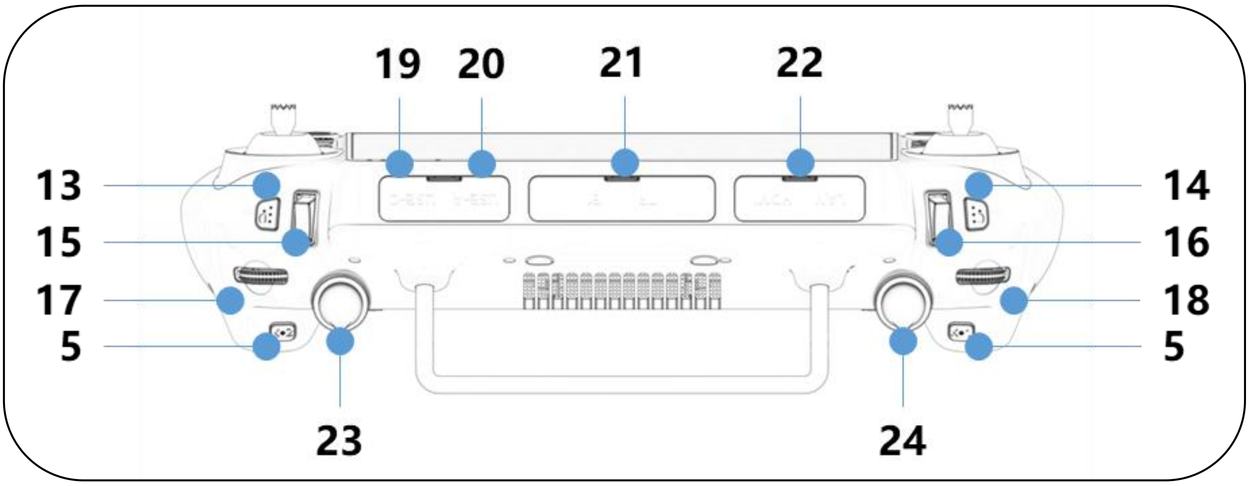
番号	画像	名称	備考
1		Q-iRC 産業用リモートコントローラ	FIFISH 本体用のリモコンです。
2		ネットワークケーブル	仕様：長さ 3 メートル; 用途：リモコンとコンピューターを接続し、ソナー画像や位置情報などを伝送します。
3		変換ケーブル	仕様：長さ 10 センチメートル、PLC インターフェースから 3.5 ミリメートルインターフェースへの変換用; 用途：リモコンとケーブルトレイを接続するために使用します。

2.2 リモコン部品説明



品番	部品	説明
1	左ジョイスティック	機体姿勢制御。
2	右スティック	機体の姿勢制御。

3	画面	ソフトウェアシステムの操作画面を表示します。
4	深度固定ボタン	ボタン記号 A を押すと、本体は設定された水深を自動的に維持し、安定した垂直位置を保ちます。
5	ショートカットキー	ボタン記号 L1、L2、R1、R2、B、K1、K2、K3、K4 は、プリセット機能を素早く起動するために使用します。
6	電源ボタン	本体の電源をオン/オフするために使用します。
7	モーター制御ボタン	H と表示されたボタンで、本体のモーターの起動または停止を行います。
8	バッテリー残量表示灯	現在のバッテリー残量を表示します。
9	電源状態ランプ	現在の電源のオン/オフ/充電状態を表示します。
10	取っ手	/
11	上部排気口	/
12	下吹き出し口	/

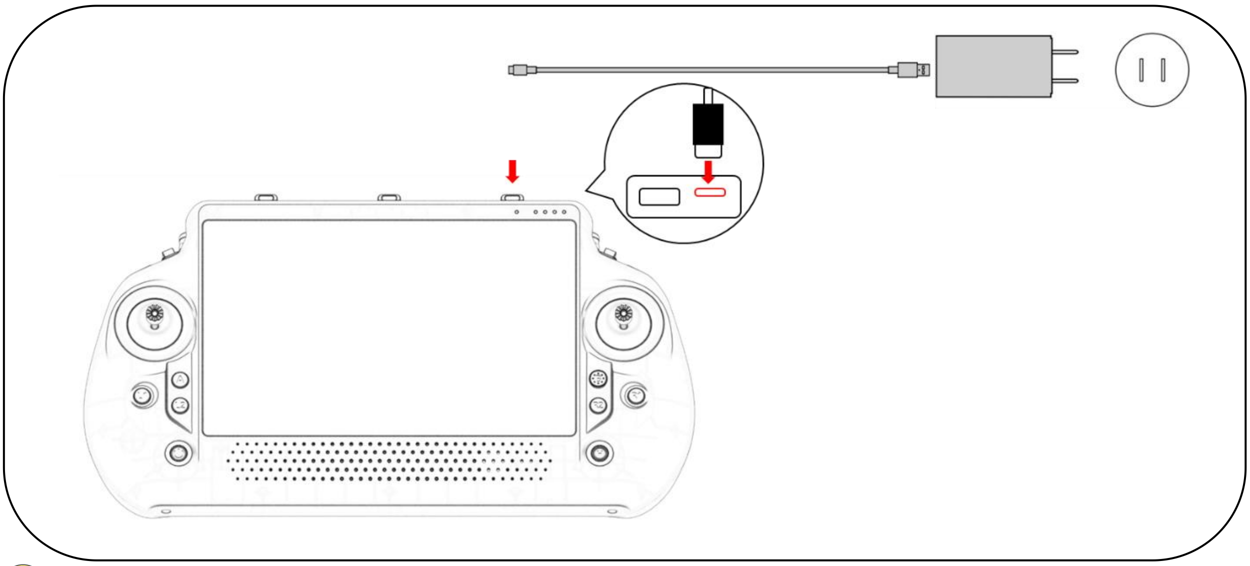


番号	部品	説明
13	撮影ボタン	現在のカメラ視野内の静止画像を撮影するために使用します。
14	録画ボタン	動画の録画を開始または停止するために使用します。

15	照明制御スイッチ	本体の LED 照明の明るさを調節します。
16	航行モード切り替えスイッチ	異なる制御モード（姿勢制御モード、運動モード、ヘッド追従モード）間の切り替えに使用します。
17	右操作ホイール	機体姿勢制御またはマウントアクセサリー制御に使用します。
18	左ダイヤル	機体姿勢制御。
19	USB-C ポート	充電器接続用、リモコンの充電に使用します。
20	USB-A ポート	外部接続可能なポータブルストレージデバイスなど。
21	microSD カードスロット	撮影した動画や写真を保存するための microSD ストレージカードを挿入するスロットです。
22	HDMI インターフェース	映像出力用です。
23	PLC インターフェース	リモコンとケーブルトレイを接続します。
24	ネットワークインターフェース	コンピューターに接続し、ソナー画像や位置情報などを伝送します。

3. 基本操作

3.1 充電



重要:

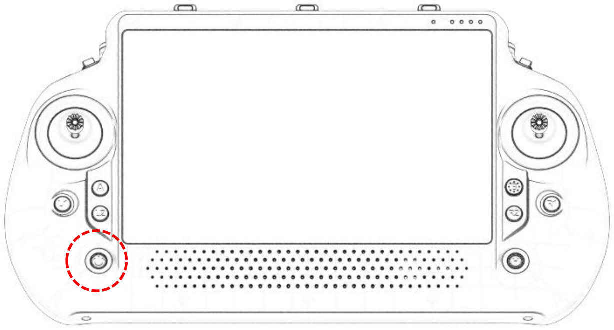
- 長期間ご使用にならない場合は、3 ヶ月ごとにリモコンの充電を行ってください。長期間の低電力状態がバッテリーの寿命に影響を与えたり、バッテリーを損傷する恐れがあります。

ご注意:

- 付属のリモコン充電器、または USB PD 3.0 プロトコルに対応した充電器でご使用ください。上記条件を満たさない他社製充電器のご使用は、リモコンのバッテリーを損傷する恐れがございます。
- 充電終了後は、速やかにリモコン充電器とリモコン、電源との接続を解除してください。

3.2 リモコンの電源投入方法

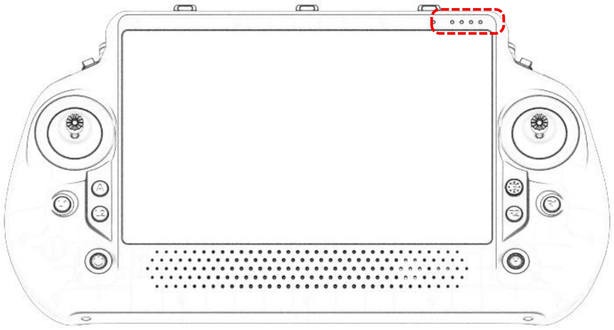
電源ボタンを 1 回短押しした後、長押ししてリモコンを起動してください。



3.3 バッテリー残量の確認

方法 1:

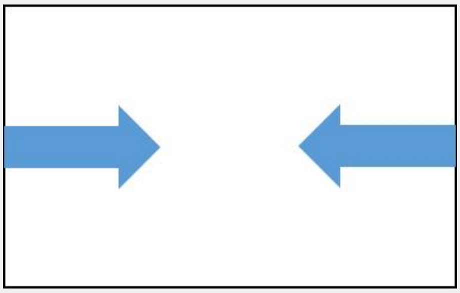
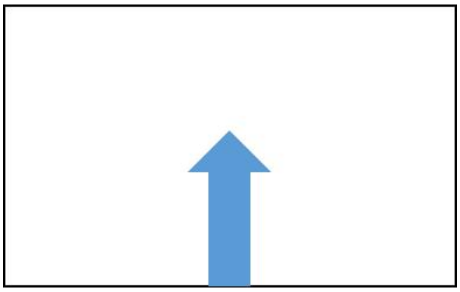
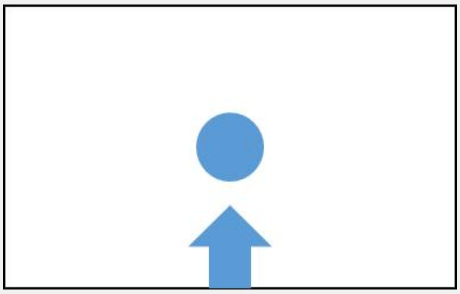
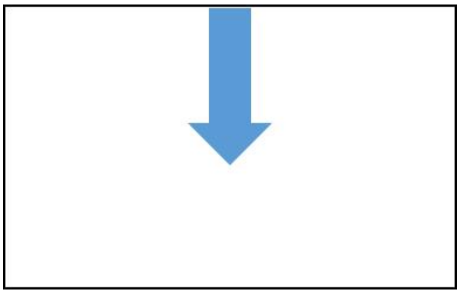
リモコンが電源オフ状態のとき、電源ボタンを 1 回押すと、バッテリーインジケーターの状態から現在のバッテリー残量範囲を素早く確認できます。

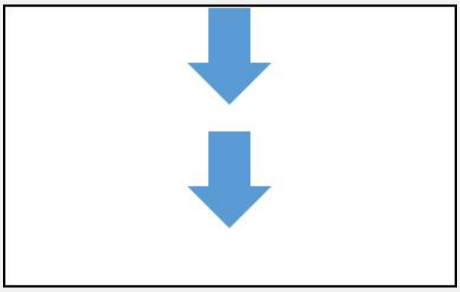


電池残量インジケーターの状態	電池残量状況
● ● ● ●	100%
● ● ● ◉	76% - 99%
● ● ◉ ○	51% ～ 74%
● ◉ ○ ○	26% ～ 50%
◉ ○ ○ ○	0% ～ 25%
● 常時点灯 ◉ 点滅 ○ 消灯	

方法 2:
リモコンの電源投入後、バッテリーインジケーターの状態、システム設定 > **バッテリー** 項目、または **システムステータスバー** から、現在のリモコンのバッテリー残量範囲を素早く確認できます。

3.4 **タッチスクリーン操作**

タッチスクリーン操作	**フィードバックと操作**
	**戻る操作** 画面の左右端から内側へスワイプ
	**ホームに戻る** 画面の下端から上へスワイプ
	**マルチタスクセンターを開く** 画面の下端から上方向にスワイプし、しばらくそのままにします
	**ステータスバーを開きます** 画面の上端から下にスワイプします。 ステータスバーには、時刻、リモコンのバッテリー残量、ネットワーク接続状態などの情報が表示されます。

	**クイックパネルを開く** 画面の上端から 2 回続けて下にスワイプします。クイックパネル画面には、明るさの調整やショートカット機能などが表示されます。

3.5 カスタム機能ボタン

リモコンのショートカットキー配置については、「リモコン部品説明」をご参照ください。

カスタム機能ボタンには、L1、L2、R1、R2、K1、K2、K3、K4、および 5 方向ボタン B が含まれます。今後の QYSEA FIFISH アプリバージョンアップデートにて、ボタンカスタマイズ設定機能が提供される予定です。

3.6 リモコン管理

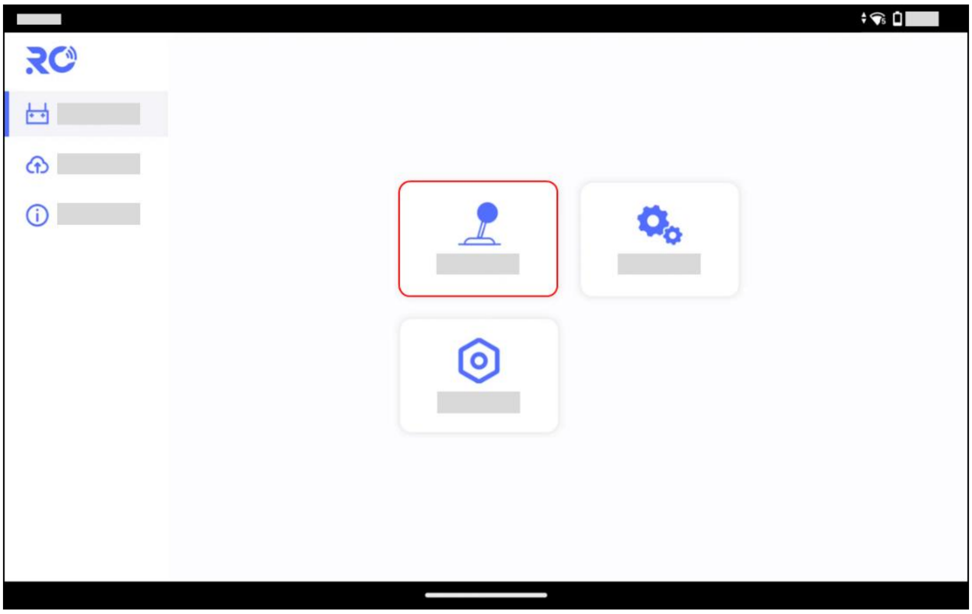
RCTool App はリモコン内蔵の管理ソフトウェアです。本アプリを通じてリモコンの一元管理が可能で、キャリブレーション操作の実行、データ転送、バージョン確認などが行え、機器のメンテナンスや管理に便利です。

3.6.1 リモコンキャリブレーション

RCTool アプリでは、ジョイスティックとダイヤルホイールキャリブレーション設定を行い、リモコンの制御精度を確保できます。この機能により、左右のジョイスティック及びダイヤルホイールの中立位置と可動範囲を再キャリブレーションし、長期間の使用や環境変化による偏差を解消します。これにより操作入力の精度と応答安定性が向上し、本体の姿勢制御が正確かつ確実に保たれます。

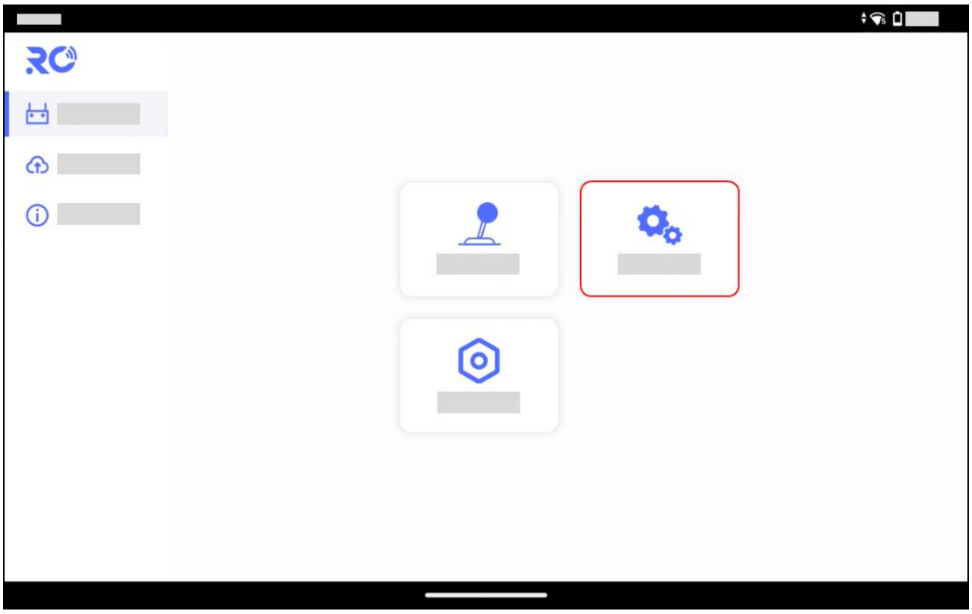
- **ジョイスティックキャリブレーション**

1. システムメイン画面から RCTool アプリを開き、「**Stick**」をタップしてください。
2. 「**Start**」をタップし、画面の指示に従って左右ジョイスティックの精度補正を行ってください。



- **ダイヤルキャリブレーション**

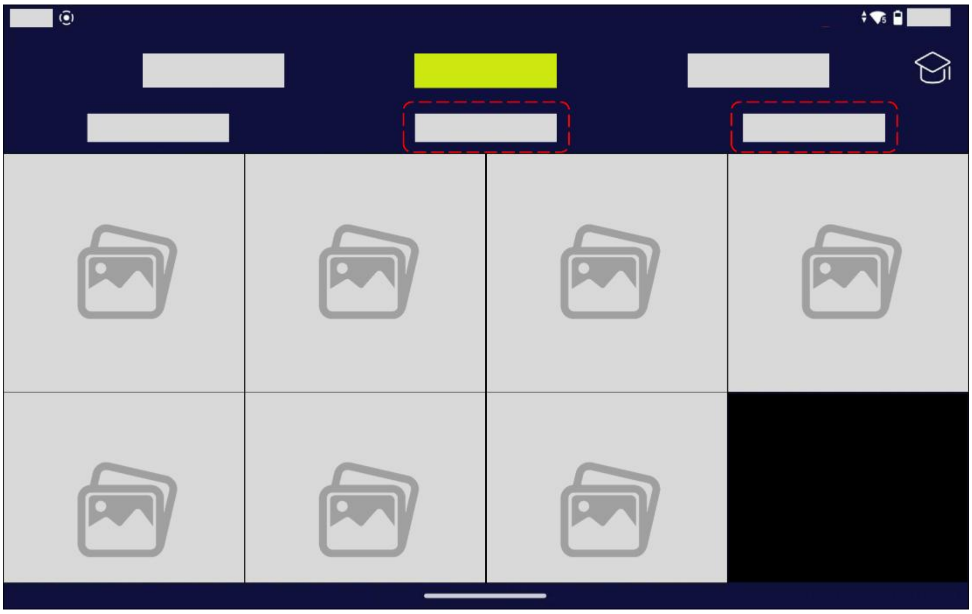
1. システムメイン画面から RCTool アプリを開き、**「Volume」**をタップします。
2. **「Start」**をタップし、画面の指示に従って左右のダイヤルの精度補正を行ってください。



3.7 本体の映像出力

本体が撮影した写真と動画は、本体の内部ストレージに保存されます。映像ファイルをリモコンにエクスポートする場合は、以下の手順に従ってください:

1. システムメイン画面から QYSEA FIFISH アプリを開き、「メディア」をタップして表示し、「カメラ」を選択してデータを閲覧します。

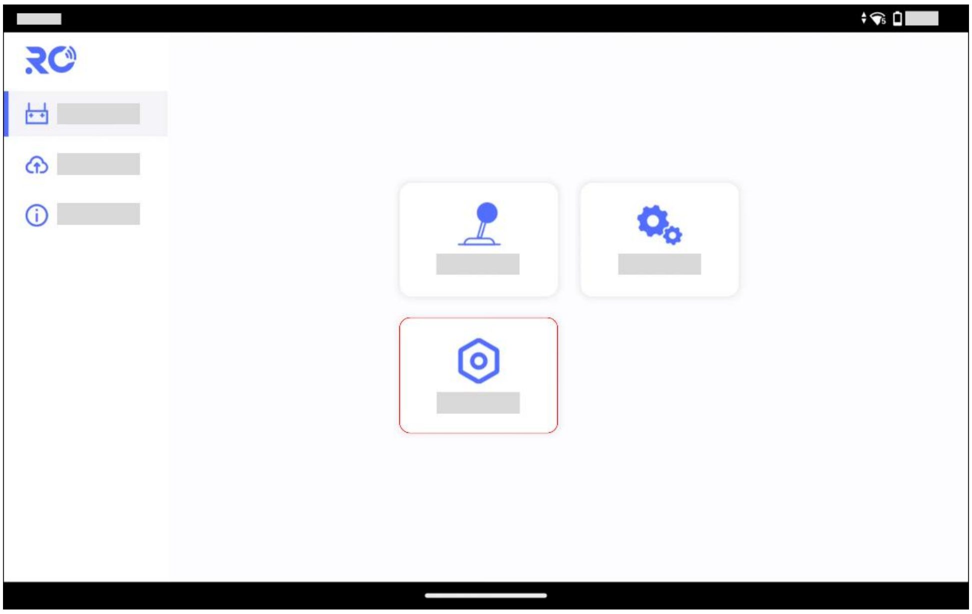


2. ダウンロードしたい画像または動画を長押しで選択し、「保存」ボタンをクリックすると、データが本体からダウンロードされ、リモコンの DCIM フォルダに保存されます。

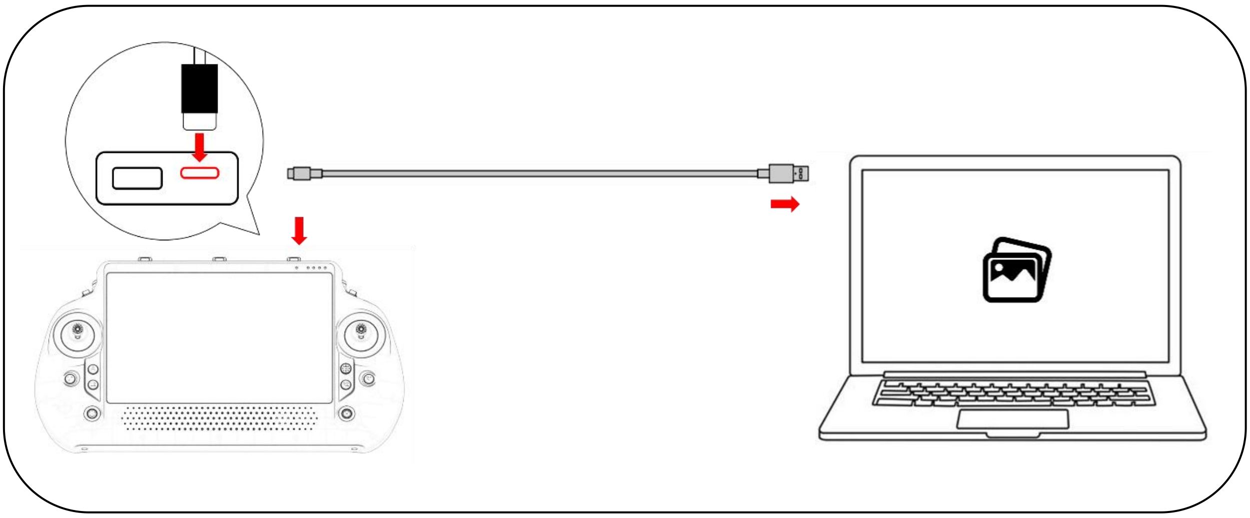
3.8 リモコンのデータ保存とエクスポート

3.8.1 データケーブルによるエクスポート

1. システムメイン画面から RCTool アプリを開き、「システム設定」をタップします。
2. 接続モードで**「ローカルデータ転送」**をタップし、**「データ転送」**を選択します。

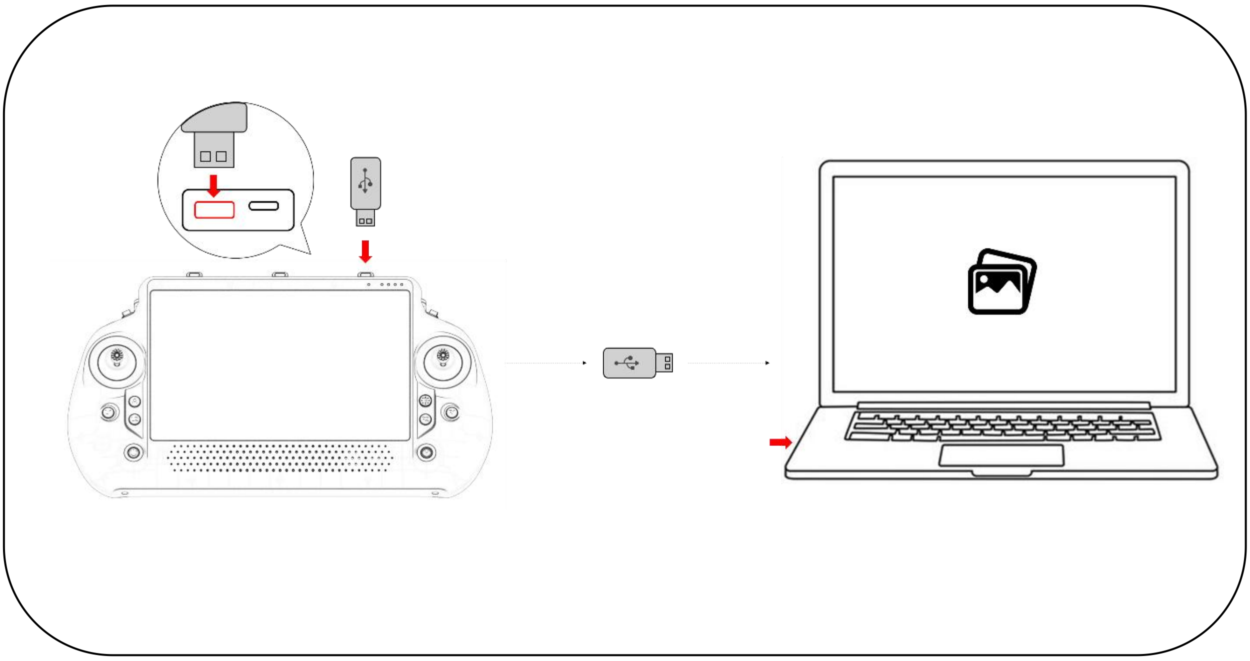


3. USB Type-C インターフェースケーブルを使用し、リモコンをコンピューターに接続します。



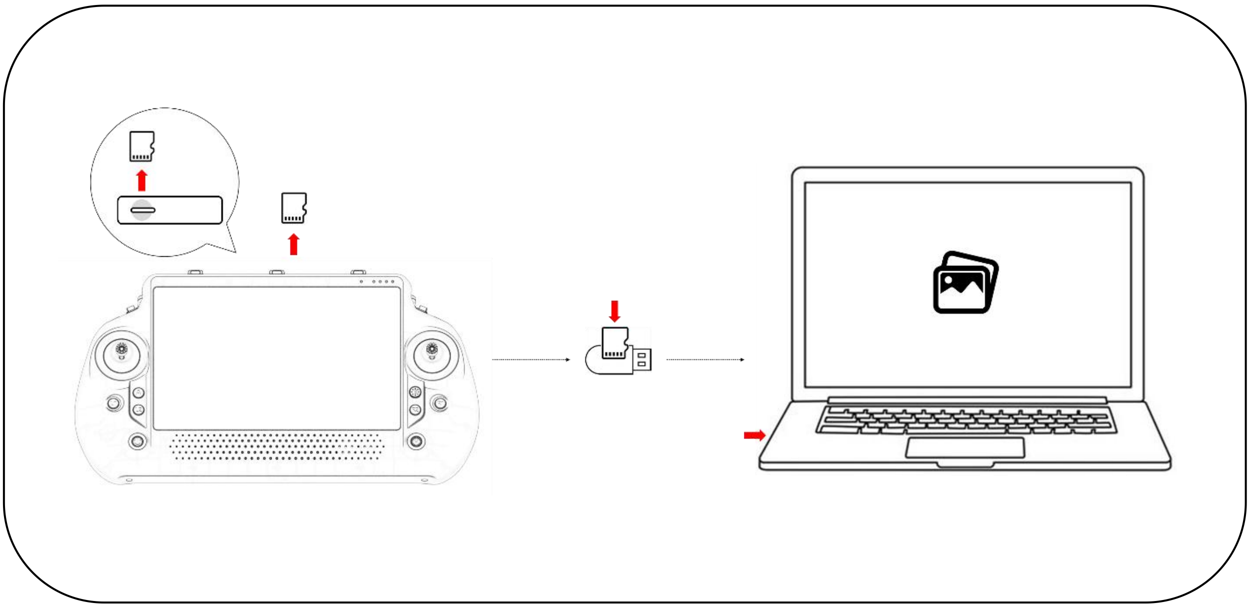
3.8.2 モバイルストレージデバイスを使用したエクスポート

1. お使いのモバイルストレージデバイスを、リモコンの USB Type-A インターフェースに接続してください。
2. システムメイン画面からファイルアプリを開くと、アプリ内でファイルの閲覧、コピー、エクスポートなどの操作が可能です



3.8.3 *microSD* **カード経由でのエクスポート**

1. リモコン上部のカードスロットカバーを開け、カードを軽く押して離し、microSD カードを取り出します。
2. microSD カードリーダーまたは microSD カードスロット付きのコンピューターに microSD カードを挿入してください。
3. コンピューターが認識するとリムーバブルディスクとして表示されますので、開いてリモコン内のファイルを閲覧、コピー、またはエクスポートできます。



! **重要:**

- 上記のいずれの方法でデータを転送する場合でも、操作完了後はシステムの「ハードウェアの安全な取り外し」機能を使用してデバイスを安全に切断し、データケーブル、リムーバブルストレージデバイス、または microSD カードを抜いてください。これによりデータ損失を防ぐことができます。

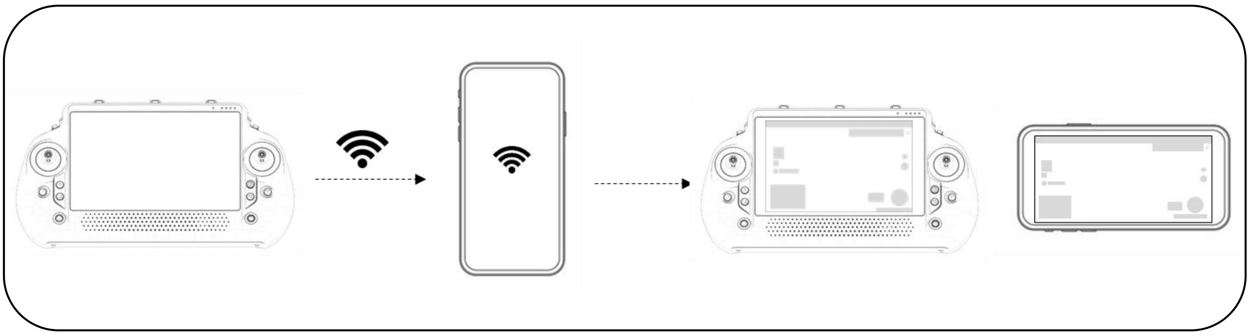
3.9 画面共有

3.9.1 マルチスクリーン無線同時伝送

本機能により、リモコン画面をサードパーティ製デバイスとワイヤレスで共有できます。スマートフォンやタブレットなどのサードパーティ製デバイスでは、QYSEA FIFISH アプリを通じて本体のリアルタイム映像を視聴可能です。チーム連携や映像監視に便利で、操縦者や監視員などが航行映像や情報を同時に取得できます。

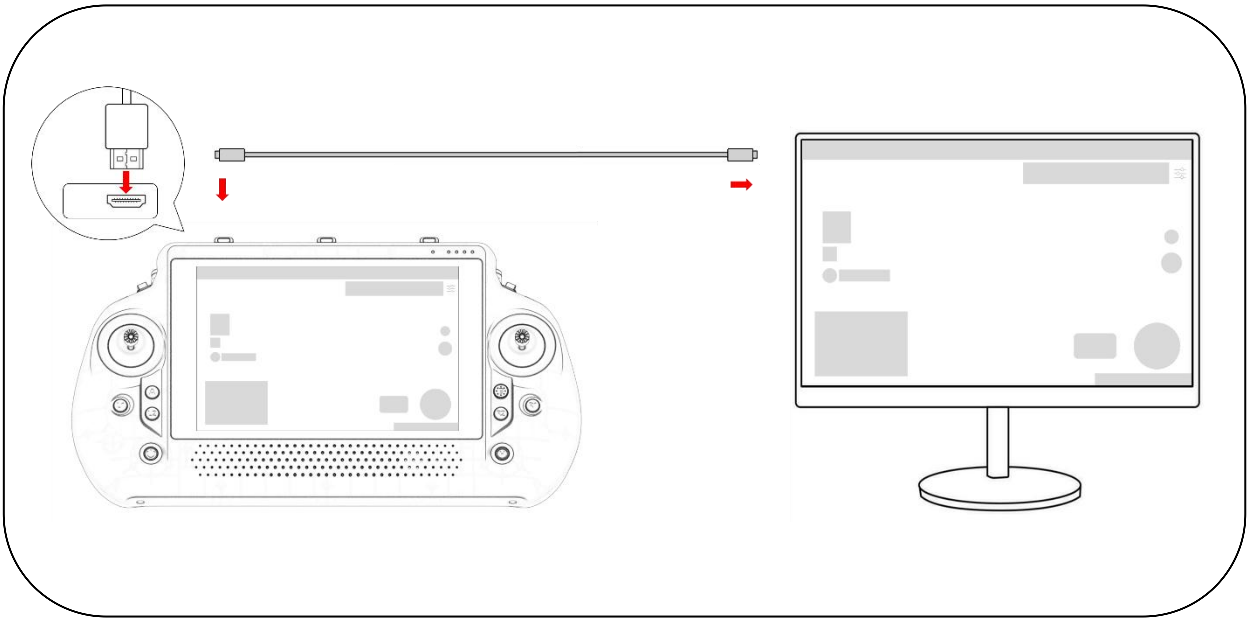
- **接続手順:**

1. リモコンでシステム設定 > ネットワークとインターネット > ホットスポットとネットワーク共有 > WLAN ホットスポット > オンを選択してください。
2. QYSEA FIFISH アプリをインストール済みのサードパーティ製デバイスで、リモコンが作成した Wi-Fi ホットスポットに接続します。
3. サードパーティ製デバイスで QYSEA FIFISH アプリを開き、「デバイス接続」をタップすると、オブザーバー画面にアクセスできます。



3.9.2 *HDMI* 出力

リモコン上部の HDMI 端子とディスプレイを HDMI ケーブルで接続すると、リモコン画面をディスプレイに表示して確認できます。



4. メンテナンスとアフターサービス

4.1 メンテナンス

- すべてのコネクタ（ポートとプラグ）は清潔で乾燥した状態を保ち、使用しない際は保護キャップを取り付けてください。
- 定期的な点検として、シール部品やゴム製ガスケットの摩耗や損傷を確認し、異常が認められた場合は速やかに交換してください。
- ご使用後は、本製品を乾燥した涼しい場所に保管してください。
- 強酸・強アルカリ環境下での操作は、本体及び付属品の寿命を縮める可能性があります。
- 本製品が汚染された場合は、柔らかい素材で清掃・拭き取りを行ってください。

4.2 アフターサービス

問題が発生した場合は、QYSEA のアフターサービス担当者までご連絡ください。
1. オンラインカスタマーサービス：FIFISH アプリ、公式 WeChat アカウント（FIFISH 本体）、公式ウェブサイトよりアクセス可能です。
2. 電話番号：+86-755-2266-2313 営業時間：月曜日 ~ 金曜日 9:00 ~ 20:00（GMT+8）
3. メールアドレス：support@qysea.com
4. 機器の故障が発生した場合は、事前に故障状況を動画で録画いただき、機器のシリアル番号と購入時の領収書をご提示ください。これにより、より迅速な解決策をご提供できます。

5. 製品仕様

番号	仕様項目	仕様
1	寸法	292 ミリメートル（長さ）* 160 ミリメートル（幅）* 80 ミリメートル（高さ）
2	重量	1420 グラム
3	画面サイズ	7 インチ
4	画面輝度	1500 ニット
5	解像度	1920（横方向）*1200（縦方向）
6	オペレーティングシステム	Android 13.0
7	バッテリー容量	10400mAh 7.2V リチウムイオン
8	連続使用時間	8 時間
9	消費電力	9 ワット
10	充電インターフェース	USB Type-C
11	充電時間	4.5 時間
12	Wi-Fi 周波数帯域	2.4/5 GHz
13	保護等級	IP54
14	動作環境温度	-20℃ ~ +55℃
15	保管温度	-30℃ ~ +65℃
16	動作環境湿度	5% ~ 95%